

道標ない旅

自分も人も大切に

～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～



令和3年度 第42号
2022.3.16発行
葉山町立長柄小学校
校長 益田孝彦
Tel. 046-875-6860
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

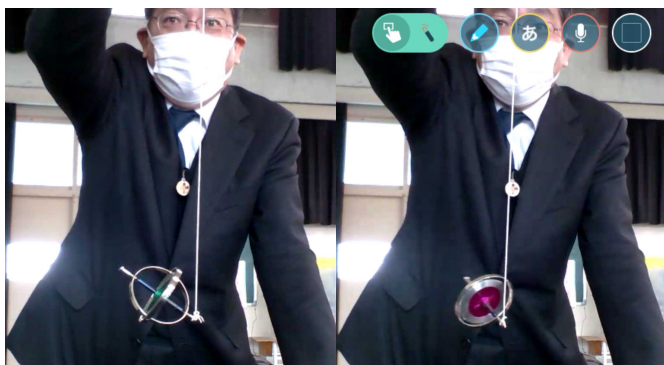
◆◆ 本年度最後の校長集会サイエンスショーは「コマ劇場」でした。 ◆◆

といっても、年配の方以外お分かりの方は少ないので残念ですが、2008.12.31 閉館した新宿「コマ劇場」と重ねてみました。現在飛行機に欠かせないオートパイロットを支える、「ジャイロ効果」につながるお話を卒業祝いに持ってきました。実は私は、「長柄小学校では、1・2を争うコマ名人」ではないかと自負しておりまして、腕前披露を兼ねてのサイエンスショーを企画しました。



CDに、ハンドスピナーという100円ショップで購入した手遊び器具を両面テープで中央に貼り付けます。CDは、立ててもすぐに倒れてしまいますが、ハンドスピナーを回すと、写真のようにCDは倒れなくなるのです。ジャイロ効果が働くからです。ジャイロ効果とは、一般的には、物体が自転運動をすると、自転が高速なほど姿勢を乱されにくくなる現象を指します。

次に、昔懐かしい「地球ゴマ」を児童のみなさんに紹介しました。地球ゴマとは、ジャイロ効果の原理を応用した科学玩具。2015年に廃業した株式会社タイガー商会の主力製品でした。金属枠の内側の円盤をヒモを使って、高速で回転運動させると、コマとして自立します。



そこで、地球ゴマの軸をヒモで結んで、地球ゴマの内側の円盤を高速回転させて、コマの姿勢を斜めに倒してみると、写真のように、斜めにかたむいた姿勢をそのまま維持して、地球ゴマは回

り続けるのです。多くの児童がこれには驚いてくれたようです。内側の円盤の回転スピードが遅くなっていくにつれて、姿勢の維持は難しくなり、重力に従って、地球ゴマは逆さまになっていきます。

今日のサイエンスショーでは腕前披露も兼ねていたので、「綱渡り」という技をチャレンジ3回以内で成功できるかもクイズ問題でした。3回まででは失敗に終わりましたが、なんとか成功することが出来て、6年生最後のサイエンスショーを盛り上げることが出来ました。



【全部は無理ですが、6年生が伝えてくれたメッセージを紹介させていただきます。】

- ・今までありがとうございました!!毎回のサイエンスショーが楽しかったです!!
- ・サイエンスショーとても面白かったです。これからもサイエンスショー続けて下さい!校長先生ありがとうございました。
- ・とっても面白かったです!特に今日の地球ごまは興味深いです!毎回びっくりです!ありがとうございました。
- ・1年間ありがとうございました。木曜日のサイエンスショーすっごく楽しみで、色んなこと学びました。
- ・とても意外なけっかがたくさんあり、たのしかったです!!
- ・1年間新しい取り組みの「サイエンスショー」、理科の不思議がたくさんつまっていて、面白かったです。

◆◆ 3月4日に、5年生の理科授業に、葉山メダカの会の講師をお迎えしました。 ◆◆



葉山メダカの会のご協力を頂ければ、5年生児童に、より本物の授業が出来ることはいつも感じていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、なかなか外部講師をお迎えすることが出来ずにいました。お迎えして講師の方を感染させてしまってはいけなからです。今回は決断し、実施して頂く運びとなりました。実物での授業はやはりひと味違います。授業後には講師の方々へお礼の手紙を書いたとのこと。葉山メダカの会の方々ありがとうございました。

◆◆ 逆上がり補助器を設置しました。 ◆◆

先日お伝えした補助器を鉄棒の所に設置しました。早速児童が寄ってきて使ってみています。キックする板はプラスチック製で、スロープの角度は5段階ほど調整することが出来る優れたものです。利用する学年によって調整してあげることが出来ます。児童が逆上がりを習得できるよう、大切に役立たせて頂きます。PTAの皆様のご支援で新調することが出来ました。本当にありがとうございました。



◆◆ 1年生が卒業式に向けて、花をプランターに植えて、準備してくれました。 ◆◆



お花は、葉山町の人権の花運動で提供いただいた物です。この運動は、おもに小学生を対象とした啓発運動で、学校に配布した花の種子、球根などを、子どもたちが協力し育てることによって生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的としたものです。プランターは、卒業式や入学式でも活用させていただく予定です。1年生の感謝の気持ちが、お世話になった6年生に届くと良いと願います。

◆◆ 地域の方からの声が届いています。 ◆◆

道標ない旅第35号で、ピンクコースの登下校において、大きな声(奇声・嬌声)を出してしまう児童の話や、ショートカットのために駐車場を通過してしまう児童の話をお伝えしました。地域の方々にも知っていただくため、2月8日発行で地域版でも紹介しました。

たまに教頭や校長が様子を見に行くのですが、残念なことに、私たちが見ていない場面では、繰り返している児童がいるのご指摘がありました。

幸い2度にわたって行われた自動車を傷つける行為は、先生方の呼びかけや学校だよりの効果があっただけで、(警察署も注視している事件ただけに)胸をなで下ろしていますが、日常的な心がけと実践力が必要な、大きな声を出す行為や、駐車場を横断する行為がなかなか収まらないのは残念でなりません。

先日は、下校時に車が来ているのに道に横に広がって歩いて、車をよけない児童がいましたよという別の残念な声も届きました。教育はねばり強く児童に伝え続けて、正しい行動を身に付けてもらいしかありませんが、大人になる前にきちんとした意識や態度を育てなければなりません。学校全体の教育力で、ねばり強く児童を導いていきたいと思ひます。

◆◆ 6年生に携帯電話教室を実施しました。 ◆◆



3月14日(月)に6年生を対象に携帯電話教室を実施しました。講師は南郷中学校の生徒指導担当の教諭と 教諭の2名。中学校入学前の児童に、大変分かりやすくスマホ・携帯利用上の留意点を伝えて下さいました。

この企画、小中一貫教育の流れにも即しており、南郷中学校長と、次年度以

降も続けていこうとなりました。保護者の方々にも知って頂きたい内容なので、そこまで含めて企画していきたいと思ひます。

◆◆ 犯罪のない安全・安心まちづくり奨励賞受賞者の報告です。 ◆◆

葉桜地区にて、児童の登下校を見守って、児童に対する横断補助、挨拶、声かけ、転んだ際の応急処置などを長年行って下さり、「かとちゃん」の愛称で児童に親しまれている、様が、地域への貢献度が極めて高いとして、奨励賞を受賞されました。令和3年度の神奈川県と同賞の受賞は、2名の個人と3団体です。学校としても本当にお世話になっているので、大変嬉しく感じております。様、本当におめでとうございました。

